（特非） ちゅうごく環境ネット

未利用木質（間伐材）を有効利用した『農村型バイオ温水利用システム』の開発及び里地・里山地域との連携・協働による取組活動

イベントの延べ参加者数	1,000 人
熱交換器熱回収率	72%
活動の全体目標に対する達成度	70%

バイオ温水装置運転風景

◆成果と工夫したポイント

●成果
- 1·2 号機熱交換器比較：排熱回収率平均 30% から 72% へ向上。
- 木質系燃料情報：間伐材・製材廃棄物・籾殻交じり燃料等水分・熱量把握。
- 間伐材関連情報：採集場所・状況、チェーンソウ・薪割り機等器具取扱い。

●工夫
- 過疎化の進む中山間地域における間伐材安定確保。
- エコ·イノベーションメッセでの活動発表まとめ。

課　題

- 薪ストーブに間伐材等を燃料とし排熱有効回収。
- 過疎化が進む中山間地域に間伐材安定確保、燃料用等へ利用。
- 各団体等協働で環境パートナーシップ構築、環境教育場の提供。

活動内容

団体役員メンバーによるプロジェクト会議

①薪ストーブに、間伐材その他木質系燃料を使用し、排熱の有効回収実証実験を実施。②ビニールハウスの２重化、屋外における二重煙突等エネロス対策・省エネ活動推進。③過疎化の進む中山間地域に間伐材安定確保、燃料用等への利用に対する支援活動。④持続ある取り組みとして、『環境教育（ESD)』の具体的なパートナーを構築・推進。⑤広島県産業会館で実施のエコ・イノベーションメッセで上記の活動を取りまとめ発表。

今後の課題

中山間地域住民やリーダーとなる若者と協働し、環境コミュニケーション活動を強力に推進する。

国際交流の実施として、『環境』をベースとした国際交流（例：日本・韓国・中国の青少年サミットを実施）を展開する。